

(別添資料)

「京都国際マンガ・アニメフェア×ジャパンエキスポ」共同企画内容

○共同企画概要

日本(京都)、フランス(パリ)、アメリカ(サンフランシスコ)のそれぞれのマンガ家、イラストレーターが1枚ずつ計3枚のパネル制作を行い、ジャパン・エキスポ会場と京都国際マンガ・アニメフェア会場での巡回展示を実施

<参考：ジャパン・エキスポとは？>

マンガ・アニメ・ゲーム・音楽などの大衆文化と書道・武道・茶道・折り紙などの伝統文化を含む日本の文化をテーマとして2000年からフランス・パリ郊外で開催されており、2012年来場者数は21万人を超えた、世界最大級の総合的な日本文化の博覧会。

○パネル巡回展のテーマ

テーマ：「融合と未来」

意味：文化の壁を越えて皆が集まり、融合して新たな未来を紡ぐ。

バックグラウンドの違うメンバーが集い、新しい化学反応を起こして良いものを創っていくというメッセージ。

○制作方法（「優美な死骸」：シュルレアリスムにおける作品の共同制作の手法）

複数人間が互いに他の人間がどのようなものを制作しているかを知ることなく、自分のパートだけを制作を行い、ひとつのストーリーを構築していく。

○作品を手掛けるクリエイター

・日本(京都)：CLAMP(クランプ)

※ フランス、アメリカのクリエイターは順次発表



『xxxHOLiC -戻-』

©CLAMP・ShigatsuTsutachi CO.,LTD

(裏面に続く)

<参考：CLAMP プロフィール>

いがらし寒月、大川七瀬、猫井椿、もこな的女性4名からなる創作集団。

1989年、「サウス」第3号(新書館)にて、『聖伝 RG VEDA』で商業誌デビュー。

以降、『東京BABYLON』『X』『魔法騎士レイアース』『カードキャプターさくら』『ANGELIC LAYER』『ちょびっツ』『ツバサ-RESERVoir CHRoNiCLE-』『×××HOLiC』『こぼと。』『GATE 7』など、少女誌、少年誌、青年誌と幅広い分野で活躍し、数多くのヒット作品を発表。

2010年にはコミック総売上数9,200万部を達成。

海外での人気も非常に高く、アメリカ、フランス、中国、台湾、韓国をはじめ、世界20ヶ国以上で出版され、海外版の売上(約2,600万部)を含めると、総売上部数は、1億部を超えている。UNESCOの「日本人で翻訳数の最も多い作家(小説含む)」の歴代第10位に選定。

発表作品のほとんどが、テレビアニメ、劇場アニメ、オリジナルビデオアニメーション、アニメクリップ等としてメディアミックスされ、100タイトル以上のCDやゲームソフトなどの関連商品もリリース。

イラスト、挿絵、装丁、脚本、エッセイ、キャラクターデザインにも幅広く携わっており、高い評価を得ている。2006年6月放送の『コードギアス 反逆のルルーシュ』シリーズおよび、2012年シリーズ最新作『コードギアス 亡国のアキト』のキャラクターデザイン原案を担当。

2011年7月より放送開始(MBS・TBS他)、翌2012年6月に劇場公開された、Production I.Gとのコラボレーション作品『BLOOD-C』では、ストーリー、キャラクター原案、シリーズ構成、脚本を担当。2012年7月にはGACKT(原案・主演)『MOON SAGA 義経秘伝』の企画協力、衣装コンセプト・デザインを担当。

2012年2月より、CLAMPドラマ『xxxHOLiC』(監督：豊島 圭介、主演：杏・染谷将太 WOWOW 全8話)が放送される。現在、角川書店「ヤングエース」にて『ドラッグ&ドロップ』を、2013年3月より講談社「ヤングマガジン」にて『xxxHOLiC -戻-』を連載中。